

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 410

事務事業名	観光客受入環境整備事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	観光振興課		
課長名	杉野 幸夫	内線	471
担当者名	榎田 百合子	内線	242

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040402	歴史や自然を活かした観光のまちづくり
施策		観光客受入体制の整備
関連施策		

会計	一般会計	
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	19	地域活性化・地域住民生活緊急支援費
事業コード	030502	観光客受入環境整備事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	観光交流都市づくり計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	国内外からの観光客、市民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	本市には豊かな自然やキリスト教関連遺産など、数多くの観光資源が存在しており、巡礼ツアーを目的とする国内外からの観光客を中心として増加が予想されるため、Wi-Fiを設置・維持することで、観光客に対するサービス向上、市内周遊観光を促すとともに地域経済の活性化を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	(1)市内観光施設の公衆無線LAN環境を整備し、維持する。 (2)公衆無線LAN環境の管理・保守点検を行い、必要に応じて修繕を行う。 (3)観光アプリを開発し、システムの維持管理を行う。		
事業期間	平成 27 年度	～	平成 28 年度
実施方法			
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① Wi-Fi設置箇所数	計画値	0	0	12	0	
		実績値	0	0	9		
		達成度	%			75.0%	
活動指標	② アプリ更新回数	計画値	0	0	10	100	
		実績値	0	0	13		
		達成度	%			130.0%	
成果指標	① Wi-Fi利用者数(延べ人数)	計画値	0	0	100	10,000	
		実績値	0	0	224		
		達成度	%			224.0%	
成果指標	② アプリダウンロード数+アクセス数	計画値	0	0	500	50,000	
		実績値	0	0	719		
		達成度	%			143.8%	

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	13,433	1,039	0	0	0	0
国庫支出金			13,433					
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源				1,039	0	0	0	
② 人件費(千円)	0	0	2,469	1,474	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)			0.35	0.20	Wi-Fi,アプリ・ホームページの維持管理を行う	Wi-Fi,アプリ・ホームページの維持管理を行う	Wi-Fi,アプリ・ホームページの維持管理を行う	
時間外勤務(時間)				10				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	0	15,902	2,513				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度に市内の観光施設9拠点に11箇所のWi-Fi整備を行った。4か国語5言語(日本語・英語・簡体字・繁体字・韓国語)に対応した、観光アプリ、ホームページを整備した。
事業が抱える問題・課題等	整備したWi-Fiスポットが観光客が訪れる観光スポットをカバーしきれていない。アプリについては、今後情報の更新、OSのバージョンアップに対応することが引き続き必要である。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	長崎の教会群とキリスト教関連遺産の将来的な世界遺産登録を控え、本市においてもキリシタン史跡が多数存在することから、国内外からの観光客が増加することが予想される。このような中、受け入れ態勢の強化を図るため、Wi-Fi環境のインフラ整備と市内観光情報を提供するアプリ開発が必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市観光施設に訪れる観光客に対するサービスは、市が関与することが妥当である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	Wi-Fi環境整備やアプリの開発を行うことで、市内観光地への周遊と滞在時間の延長が図られ消費拡大に繋がる。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内観光施設にWi-Fi環境整備及びアプリ開発を行うことで、観光客の誘客を促し地域経済の発展に繋がるため施策貢献度は高い。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	Wi-Fi環境整備は、観光客が多く訪れている観光施設に段階的に設置するよう予定しており、削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性 その他の見直し

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	整備されたWi-Fi環境の保守点検・アプリの管理やシステム更新などの維持を継続して行う。 また、今後もWi-Fiの整備箇所を検討していく。 なお、本事業はWi-Fi及びアプリの維持管理に伴う経費であるため、平成29年度から各種観光施設維持管理事業に移行する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	観光客の利便性・満足度向上。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。